

事業を通じた取り組み

地域貢献型自動販売機



コカ・コーラシステムでは、本業を通じた社会貢献として災害時における飲料提供協力などに関する自治体との協定のもと、地域貢献型自動販売機の設置を積極的に進めています。主に緊急時の避難場所に指定されている地域の学校体育館や公共施設、病院などを中心に、2021年末現在、全国に約6,800台が設置されています。

地震などの災害発生時に、通信ネットワーク技術を活用した遠隔操作によって、自動販売機に搭載された電光掲示板に災害情報を流したり、本体に残っている飲料を無償で提供したりすることが可能で、緊急時に自動販売機ならではの機能を活用した支援を行っています。また各ボトラー社では、自動販売機を設置させていただいているお取引様と協働で、自動販売機の売上金の一部を社会貢献活動や環境保全活動を行っている団体などに寄付する取り組みも展開しています。製品購入を通じて寄付を行うことができる身近な社会貢献ツールとして、多くの方々から支持されています。

自治体との包括協定



日本のコカ・コーラシステムでは、地域・自治体との協力を強化することを目的として、「包括連携協定」を締結してきました。2021年12月末時点における締結件数は全国で1,512件になります。これにより、地域のパートナーとして各自治体と対話を通じた密接な連携を図るとともに、地域の活性化を目指し、教育・人材育成、防犯・防災、健康促進など、多岐にわたる分野で市民生活向上につながる取り組みを進めています。また、刻々と変化する社会情勢にも対応したさまざまな活動に「包括連携協定」が活かされています。

自動販売機を通じた地域貢献事例：守山市との取り組み



滋賀県守山市には、コカ・コーラ社製品の原液などの製造を担う日本コカ・コーラ 守山工場が立地しています。コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、守山市と2021年4月より「包括連携に関する協定」を結び、SDGsの推進や、オリンピック・パラリンピックのレガシー創出、防犯・防災など多岐にわたる分野で協業し、地域社会の発展と住民サービス向上につながる取り組みを進めています。

2022年4月からは守山市内に所在する県営都市公園「びわこ地球市民の森」内に自動販売機を設置し、公園利用者のみならずへのサービス向上を図るほか、地域の環境保全に関する協業も協議しています。